

第1回

2017年**11**月**20**日(月) 12:30 - 14:30

立教大学 池袋キャンパス 5号館 5408 教室

台湾の大衆演劇空間における異文化とその受容

<報告>

簡 秀珍 (台湾国立台北芸術大学伝統音楽院 副教授)

「演芸潮流の越境的流動：天勝一座（1911 - 1938）の演技と上演」

許 書恵 (台湾国立台北芸術大学戯劇学院 図書室)

「“大衆演劇” 一民族誌的方法による観察と報告」

通訳：細井 尚子 (アジア地域研究所所員、異文化コミュニケーション学部教授)

簡 秀珍 (ジエン シウジエン) (台湾台北芸術大学副教授)

台湾の北管、南管、歌仔戯を研究。また、日本統治時代に川上音二郎によって伝えられた児童戯の台湾における受容・展開に関する研究、松旭齋天勝一座の台湾公演研究も行っている。児童戯、布袋戯の脚本家でもある。

許 書恵 (シュ シューホエ) (台湾国立台北芸術大学戯劇学院 図書室)

日本統治時代の台湾における様々な演戯(青年戯団、「戯曲」(伝統演戯)など)の変容、演戯にみる日本文化の受容、劇場史、脚本研究。

第2回

2018年**2**月**24**日(土) 13:00 - 16:00

立教大学 池袋キャンパス 12号館第4会議室

演戯事象にみられる異文化受容としての翻案・翻訳

<報告>

石 婉舜 (台湾国立清華大学台文研究所 副教授)

「テキストの文脈と文化翻訳：林搏秋作『閩雞』の地方色と風格形式」

洪 栄林 (アジア地域研究所特任研究員 韓国延世大学講師)

「韓国近代楽戯の発展と変化」

通訳：細井 尚子 (アジア地域研究所所員、異文化コミュニケーション学部教授)

石 婉舜 (シィ ワンシュン) (台湾国立清華大学台文研究所 副教授)

日本統治時代台湾における興行、劇場研究。ムーランルーシュ新宿座に在籍し、帰国後演戯・映画界で活躍した林搏秋研究の第一人者でもある。その一環として台湾映画研究の業績も多い。

洪 栄林 (ホン ヨンリム) (アジア地域研究所特任研究員 韓国延世大学講師)

中国演戯専攻。元雑戯など古典戯曲研究と、舞台上演される中国演戯(特に越戯)研究。2010年代より、韓国では研究の薄かった女性国戯研究に着手、現在は楽戯にまで研究対象を拡げている。